

令和4(2022)年度

令和4(2022)年4月 1日から
令和 5(2023)年3月31日まで

決 算 概 要

学校法人獨協学園全体の財務状況につきましては、
獨協学園のホームページ <http://dac.ac.jp/finance/> をご覧ください。

獨協中学・高等学校

【獨協中学・高等学校】

令和4(2022)年度 事業報告書

1. 主な事業実績と課題

令和4(2022)年度は、コロナ禍にありましたが、徹底した感染防止対策により休校することなくオンライン授業を併用したリアル授業を実施しました。また、宿泊を伴う校外活動の範囲拡大などアフターコロナを見据えて学びの機会を増やし、教育の質的向上を図りました。

各種設備の設置、感染防止用品等の購入に際しては寄付金や各種補助金の獲得に努めました。

令和4(2022)年度の主な事業実績と課題は以下のとおりです。

(1) 教育の主な事業実績と課題

① 教育課程表の改訂

理系科目の学習を充実させるため、併設型中高一貫校の特例制度を利用して「生物基礎」を中学3年で先行履修し、高1で「化学基礎」「物理基礎」を学ばせることを主眼とする教育課程表の改訂を行いました。この新教育課程表に基づく学習は令和6(2024)年度から実施します。実施に向けた中身づくりが令和5(2023)年度の大きな課題です。

② クラス編成の変更

低学年でのきめ細かな指導体制づくりのため中学3年間を6クラス編成とし、また高校では多様なものの見方を身につけてほしいという狙いから2年生以降もホームルームを文理混合で編成することに改めました。これに伴い、高校3年間はずべて5クラスでの編成になります。加えて選抜クラスの設置についても検討を行い、全体の底上げを図りつつ上位層をより一層引き上げる目的から、中学3年では英語・数学で習熟度別授業を導入することとし、選抜クラスの設置は高校1年からに改めました。今後は、実施と成果の検証→修正を重ねて狙い通りの効果が得られるようにしていくことが課題です。

③ 入学生の偏差値帯の向上

2021年度入試から導入した午後入試の実施と高大連携を行い、また、2022年度から始まった獨協医科大学への系列校推薦により、受験生の偏差値帯は大きく上昇を続けています。これは午後入試の受験生だけでなく、すべての入試回の受験生に見られます。例えば2月1日午前実施の第1回入試の日能研の結果偏差値は、この3年間で7ポイント上昇しました。

第1回入試(2月1日午前実施)偏差値推移(日能研 結果偏差値)			
'20年度	'21年度 (午後入試導入)	'22年度 (獨医大系列校推薦スタート)	'23年度 (今年度)
43	47	48	50

今年度は受験生がやや減少しましたが、これは所謂チャレンジ層が減少したことに関与していることが大きく、受験者、入学者の学力レベルは確実に上昇しています。この上昇傾

向をしっかりと軌道に乗せていくことが今後の課題です。そのためにも、教育の中身をより一層充実させ、大学入試結果も残していくことが求められます。

(2) 主な施設設備及び財務計画の実績と課題

①校舎 2 階・3 階トイレの改修抗菌化、バリアフリートイレの設置

②教職員用椅子の全部入れ替え

教職員の執務環境向上の観点からすべての教職員用椅子を更新しました。

③補助金及び寄付金の獲得

経常費補助金以外の主な補助金、寄付等は以下のとおりです。

- ・校舎 2・3 階トイレの改修： PTA 寄付金16百万円、施設高機能化補助金2.9百万円
- ・光熱費高騰対策： 光熱費高騰対策事業費補助金8.6百万円
- ・高校3年生教材費未使用額： 保護者有志から寄付合計1.5百万円
- ・高等学校外部検定試験： 外部検定試験助成金2.3百万円
- ・感染症対策： 学校保健特別対策事業費補助金0.5百万円
- ・wi-fi アクセスポイント増設： デジタル教育環境整備助成金 0.1百万円

2. 事業実績一覧

(1) 教学関係の主要事業実績

(単位:百万円)

事業名称	事業実績等	予算	実績	差異
教学関係				
①カリキュラム改革	①高等学校の教育課程について、医学部を含む理系の科目履修パターンを見直しました。中学の教育課程表とのつながりもあり、移行期間を設定しつつ準備を進めてきました。	0.3	0.3	0.0
②教育の質の向上、出口実績向上に向けた選抜クラスとコース制の改善及び習熟度クラス編成	②大学受験の多様化とこれからの Society 5.0 に向けての学びの実現を意識しつつ、高校3年次を含むコース制見直しを含めて検討を進めました。中学Ⅲ年次については、選抜クラスを発展的に解消し、英数の習熟度別授業クラス編成をすることとしました。	5.9	5.6	0.3
③授業改革・研修	③授業が、学校における学びの基本という観点から、授業実践の共有や授業アンケートへの取り組みを進めてきました。	1.3	0.8	0.5

入試関係				
①募集広報戦略	①「良質な学校」として本校を認識していただくことを目的に、ブランド力が高く、かつ書店の販売ルートに乗っている媒体に積極的に広告記事を掲載しました。	14.9	14.5	0.4
②HP改修	②2022年度の改修はバナーの位置の変更など小規模なものに限って行いました。全体的な見直しは今後検討を進めて参ります。	0.5	0.1	0.4
教育活動関係				
①行事	①コロナ禍で中断や縮小していた行事が徐々に復活しつつある一年でした。高校2年生の修学旅行(ハワイ)は年度をまたぎましたが4月初めに実施することもできました。このフィードバックも含めてようやく行事のグランドデザインの検討に戻ることができます。	0.3	0.9	▲0.6
②進路指導	②大学入試の実績は、中学から、特に低学年での学習習慣と関連が高いことを念頭に、引き続き6年一貫での進路指導に取り組んできました。今年度は、出口戦略という意味で、高校3年生への講習形式に工夫をする等、より高みを目指すことのできる対策を講じました。獨協医科大学との高大連携については、より深くかつ具体的に、取り組みを進められたと考えています。	1.6	0.8	0.8
③課外活動	③コロナ禍での活動の制限も徐々に減り、クラブ活動を中心とする課外活動も元のかたちを目指して取り組んできました。クラブの合宿も一部再開できました。	2.8	2.8	0.0
④グローバル教育	④コロナ禍のみならず、ウクライナ問題、為替レート問題等により、海外での研修が困難な一年でしたが、その先を見越して、海外研修の再開の検討・準備を進めてきました。獨協大学とも新たに高大連携の枠組みを設け、まずはドイツ語を切り口とした取り組みを始める準備をしてきまし	2.3	0.2	2.1

⑤環境教育	た。 ⑤学内の環境教育については、引き続き充実した取り組みができたと思料します。外部の組織や学校との取り組みについては、全国高校生自然環境サミットへの参加、地域の小学校との連携等、少しずつ戻りつつあります。	0.8	0.7	0.1
新型コロナ対策関係	感染予防対策として補助金を活用して各種消耗品等を購入しました。	2.4	0.5	1.9

(2)施設・設備関係および組織関係の主要事業実績

(単位:百万円)

事業名称	事業実績等	予算	実績	差異
施設設備関係		32.2	51.5	▲19.3
			※()内は内訳	
	①教室カーテンの更新		(2.3)	
	②教職員用椅子の更新		(5.4)	
	③部室棟外壁塗装 校舎改修の工期が合わなかったため部室棟塗装に変更しました。		(4.0)	
	④校舎2・3階トイレ改修抗菌化		(21.5)	
	⑤校舎バリアフリートイレ設置		(3.1)	
	⑥wi-fiアクセスポイント増設		(1.0)	
	⑦教室用ロッカー・机椅子		(2.1)	
	⑧情報センター閲覧席の机と椅子を一部更新		(9.0)	
	⑨ICT機器		(2.0)	
	⑩情報センターコピー機更新		(1.1)	

令和4(2022)年度 事業活動収支の概要

(単位:百万円、端数未調整)

科 目		年 度	令和4年度			令和5年度		
		令和3年度 決算	予算	決算	差異	予算	対前年差異	
			A	B	B-A	C	C-A	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	924	913	909	△ 3	920	8
		手数料	38	33	34	1	33	0
		寄付金	25	26	26	0	56	30
		経常費等補助金	437	454	466	12	462	8
		付随事業収入	1	1	1	△ 1	1	0
		雑収入	48	4	5	1	10	6
		教育活動収入計	1,472	1,432	1,442	10	1,484	52
	事業活動支出の部	人件費	971	974	943	△ 31	1,003	29
		教育研究経費	322	360	353	△ 8	360	△ 1
		(うち減価償却額)	(119)	(118)	(118)	(0)	(106)	(△ 12)
		管理経費	45	53	51	△ 2	62	9
		(うち減価償却額)	(3)	(3)	(3)	(△ 0)	(3)	(△ 0)
	教育活動支出計	1,339	1,387	1,346	△ 41	1,425	37	
	教育活動収支差額	133	44	95	51	59	15	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	0	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	0	0	0	0	0	0
	支出	借入金等利息	0	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0	0
		教育活動外収支差額	0	0	0	0	0	0
	経常収支差額	133	44	95	51	59	15	
特別収支	収入	施設設備補助金・その他収入等	21	0	18	18	14	14
		特別収入計	21	0	18	18	14	14
	支出	資産処分差額	1	0	3	3	0	0
		法人負担金等支出	20	21	20	△ 1	21	△ 0
		特別支出計	21	21	23	2	21	△ 0
	特別収支差額	△ 1	△ 21	△ 5	16	△ 7	14	
	[予 備 費]	0	3	0	△ 3	3	0	
	基本金組入前当年度収支差額	133	20	90	70	49	29	
	基本金組入額合計(△)	△ 51	△ 11	△ 5	6	△ 37	△ 25	
	当年度収支差額	81	8	85	76	12	4	
参考	事業活動収入計	1,493	1,432	1,460	28	1,498	66	
	事業活動支出計	1,360	1,412	1,370	△ 42	1,449	37	

令和4(2022)年度 資金収支の概要

(単位:百万円、端数未調整)

年度 科目		令和3年度	令和4年度			令和5年度	
		決算	予算	決算	差異	予算	対前年差異
			A	B	B-A	C	C-A
収入の部	学生生徒等納付金収入	924	913	909	△ 3	920	8
	手数料収入	38	33	34	1	33	0
	寄附金収入	29	26	42	16	66	40
	補助金収入	452	454	466	12	466	12
	付随事業・収益事業収入	1	1	1	△ 1	1	0
	受取利息・配当金収入	0	0	0	0	0	0
	雑収入	48	4	5	1	10	6
	前受金収入	128	130	129	△ 1	137	6
	その他の収入	1,632	1,555	1,606	52	1,597	42
	資金収入調整勘定(△)	△ 185	△ 126	△ 133	△ 7	△ 136	△ 9
	前年度繰越支払資金	1,066	1,001	1,080	79	1,096	95
	収入の部 合計	4,133	3,992	4,140	148	4,191	200
支出の部	人件費支出	994	953	925	△ 28	983	30
	教育研究経費支出	203	243	235	△ 8	253	11
	管理経費支出	43	50	48	△ 2	59	9
	施設関係支出	57	2	5	3	25	23
	設備関係支出	11	9	10	0	12	2
	資産運用支出	1,467	1,513	1,514	0	1,590	76
	その他の支出	311	163	185	21	96	△ 67
	[予備費]	0	3	0	△ 3	3	0
	資金支出調整勘定(△)	△ 102	△ 13	△ 14	△ 1	△ 24	△ 11
	法人負担金等支出	20	21	20	△ 1	21	△ 0
	内部資金支出	50	50	50	0	50	0
	翌年度繰越支払資金	1,080	996	1,164	167	1,123	126
支出の部 合計	4,133	3,992	4,140	148	4,191	199	
繰越資金増減額		14	△ 5	84	89	27	31

令和4(2022)年度 貸借対照表

(単位:百万円、端数未調整)

資産の部				
科 目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	対前年度比 B-A	令和5年度(予想)
固定資産	4,129	4,066	△ 63	4,071
有形固定資産	2,661	2,552	△ 109	2,481
特定資産	1,467	1,514	47	1,590
(うち 学部増設等引当特定資産)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち その他の引当特定資産)	(27)	(24)	(△3)	(50)
その他の固定資産	1	0	△ 0	0
流動資産	1,130	1,171	41	1,130
(うち 現金預金)	(1,080)	(1,164)	(84)	(1,123)
資産の部合計	5,259	5,237	△ 22	5,202
負債の部				
科 目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	対前年度比 B-A	令和5年度(予想)
固定負債	178	196	18	216
流動負債	311	230	△ 81	242
(うち 前受金)	(128)	(129)	(1)	(137)
負債の部合計	489	427	△ 62	458
純資産の部				
科 目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	対前年度比 B-A	令和5年度(予想)
基本金	6,517	6,522	5	6,565
繰越収支差額	△ 3,318	△ 3,232	86	△ 3,291
純資産の部合計	3,200	3,290	90	3,274
(うち 第4号基本金)	(100)	(100)	(0)	(100)
科 目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	対前年度比 B-A	令和5年度(予想)
内部部門勘定	1,570	1,520	△ 50	1,470
負債及び純資産の部合計	5,259	5,237	△ 22	5,202